

学習指導案の形式（例） 高等学校総合的な学習の時間

総合的な学習の時間 学習指導案		
○○高等学校 ○○科 年 組		
平成 年 月 日 () 第 校時 教室 指導者		
単元 (題材)	どのような横断的・総合的な学習や探究的な学習が展開されるかを端的に表現する。 ※生徒の学習の姿が具体的にイメージできる単元名にすること、学習の高まりや目的が示唆できるようにすることに配慮する。	
単元設定 の理由	なぜこの単元を設定したかについて、様々な要素からその設定理由を述べる。 ※要素としては、「生徒の実態」「育てようとする資質や能力及び態度」「内容について（教材について）」「教師の願い」「地域や学校の特色」「社会の要請」「学校研究課題との関連」「各教科等との関連」などが挙げられる。 [指導者の立場で書く]	
単元の 目標	どのような学習を通して、生徒にどのような内容を学ばせ、どのような資質や能力及び態度を育成するのかを明確に示す。 ※各学校の目標や内容、育てようとする資質や能力及び態度を視野に入れ、中核となる学習活動をもとに構成することが考えられる。 ※一文で示す場合と箇条書きにして示す場合が考えられる。 [生徒の立場で書く]	
単元の 評価規準	評価の 観点	各学校によって、育てようとする資質や能力及び態度が異なるため、各学校に応じて設定した評価の観点と全体計画や年間指導計画等に基づいて、単元の評価規準を示す。
	評価規準	
評価規準	※評価の観点の例 ○総合的な学習の時間の目標を踏まえた観点 例 「よりよく問題を解決する資質や能力」「学び方、ものの考え方」「主体的、創造的、協同的に取り組み態度」「自己の生き方、在り方」 ○育てようとする資質や能力及び態度を踏まえた観点 例 1 「学習方法」「自分自身」「他者や社会との関わり」 例 2 「課題設定の能力」「情報収集の能力」「将来設計の能力」「社会参画の能力」 ○教科との関連を明確にした観点 例 「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」 ※評価基準については、学習活動との関連において、その場面で生徒に期待される学習の姿を想定して設定する。 [生徒の立場で書く]	
指導と 評価の 計 画 全○時間	主な学習活動	
	第一次 ○生徒の活動を具体的に記す。	具体的な評価規準 (◇) と評価方法
	第二次 ※本時が含まれている学習のまとめり(次)については、 第1時 ○○○○ 第2時 ○○○○・・・(本時) 第3時 ○○○○ のように時案を示して、単元全体における本時の位置付けを明確にするとよい。	※目標に示している観点と整合性をもたせて、それぞれの学習のまとめりにおける中心的な評価場面について、おおむね満足できる状況の具体的な姿を示す。 ※学習対象や学習活動に応じて、評価する場面を想定し、必要な評価機会に位置付ける。
	第三次 ○ ※文末表現例「～について話し合う」など [生徒の立場で書く]	◇ ※文末表現例「～している」など [生徒の立場で書く]

本 時 案 （第〇次の第〇時）		
目 標	<p>○</p> <p>・単元（題材）の目標のうち、本時の学習活動で目標としているものを具体的に書く。</p> <p>・ねらいを明確にした授業づくりのために1～2つの目標に絞り込む。</p> <p>※表現例「～により、～できる」など</p> <p style="text-align: right;">[生徒の立場で書く]</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
[生徒の立場で書く]	[指導者の立場で書く]	[生徒の立場で書く]
1	○	
<p>学習活動のねらい（生徒に提示する本時の目標）を、実線で囲んで書く。</p>		
2	○	
<p>※活動に順序性がある場合には、(1)，(2)のようにして記す。</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	○	
<p>学習過程に沿って、生徒の活動を具体的に書く。</p> <p>※文末表現例</p> <p>～を音読する。</p> <p>～を書く。</p> <p>～をまとめる。</p> <p>～について考える。</p> <p>～について話し合う。</p> <p>～に慣れる。 など</p>	<p>指導過程に沿って、教師の指導・支援上の配慮事項などを書く。</p> <p>・指導の意図、重点方法、工夫など</p> <p>・指導と評価の一体化を図る手だて</p> <p>・生徒一人一人の学習への手だて</p> <p>・予想される生徒の反応</p> <p>・板書計画や準備物などは別に欄を設けることもある。</p>	<p>本時の目標と対応させる。</p> <p>評価場面は1，2か所でよい。</p> <p><観察></p> <p>評価の観点，規準，方法などを具体的に書く。</p> <p>※評価方法例</p> <p>ワークシート</p> <p>作品提出，報告書，感想文，相互評価表など</p>
3	○	
4	○	
※まとめや振り返り等について記す。		

※学習指導案作成上の留意事項

- 書式は固定的なものではない。学習者に提示する活動のめあてやそれを達成するための手だてを具体的に表現するのに適した書式を選択する。
- どのような書式を選択しても、次の点は学習指導案から読み取れるようにする。
 - 学習者がどのようなめあてをもって活動すればよいのか、また、学習者がそのめあてを達成できるように、指導者がどのような手だてを講じているか。
 - 指導の中で評価がどのように位置付けられ、どのように活用されているか。
- 評価規準の設定に当たっては、『総合的な学習の時間における評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校）』（平成24年7月 国立教育政策研究所）を参考にして、生徒の発達の段階を踏まえ、単元の指導のねらいを明確にする。
- 総合的な学習の時間の授業計画については、全体計画，実施計画，年間指導計画，単元計画に基づいて立案すること。これらの計画の詳細については、下記 Web ページを参考にする。
Web ページ：岡山県教育庁「岡山県における高等学校の総合的な学習の時間について」

<http://www.pref.okayama.jp/site/16/266168.html>